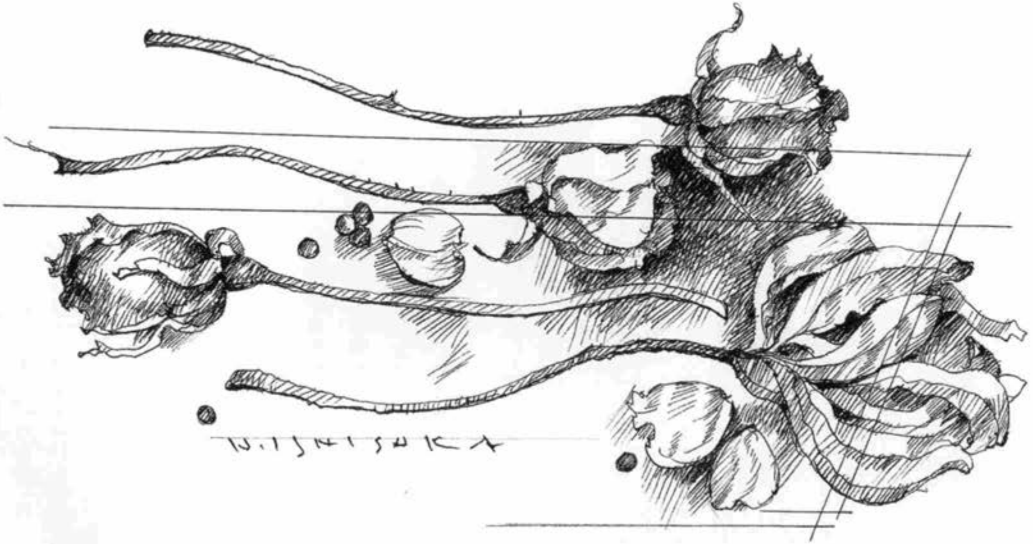
跳躍

鈴木　漠　　絵／石阪　春生

夏は　裸足（はだし）でやって来る
水際では
無数の太陽がはじける
あらゆる因襲から
解き放たれて
若者たちは駆ける
おお　裸身（ら）
おお　跳躍！

沖を行く船では
若い航海士が
レーダーを覗きこむ
遊弋（ゆうよく）する海豚（いるか）たちとの交信を
航海日誌の余白に記録する
文字ではなく魂の言葉で
おお　跳躍
おお　歓喜！



■私の意見

「芸術の館」(仮称)の意味するもの

木村重信
〈兵庫県立近代美術館館長〉

古代都市は農業技術が発達したから興隆し、近代都市は工業技術の発達に支えられて栄えた、と一般に考えられている。しかしこのような考えはあまりにも単純な因果論である。農業や工業の技術はひとりでに発達するものではなく、それらの発達を刺激する、人間精神の集中と高揚をはかる仕掛、たとえば古代では神殿、近代では博物館や劇場のようなものが必要であった。

たとえばメソポタミアでは、ジックラトと呼ばれる人工の丘の上に神殿が建てられたが、このジックラトに大勢の人びとが集まり、宗教的行事をおこなって、互いの連帯をかためた。かくしてこの神殿を中心に、いわば人間精神の組織化が始まり、それにともなって生産の拡大が刺激され、大きな余剰物資が得られるようになって、都市が形成された。

宗教が昔ほどの力を持ち得ない現代では、それにかわる力は、建築、美術、音楽、演劇、デザインなどを含む、広い意味での芸術に求められよう。たとえば近年におけるニューヨーク「再生」の事実がある。ニューヨークの雇用は一九六〇年代から下降を続け、市民や企業の市外脱出と犯罪の横行に苦しんだ。ところが一九七七年を底に再び上向き、何十万人もの仕事を取り戻した。それにともないオフィス・ビルや住宅ビルの建設ラッシュ、外国からの投資の増大、観光客の激増という現象があらわれた。このようなニューヨーク活性化の起爆剤となったのが、ミュージカル・ショーを始めとする芸術であり、リンカーン・センターなどの諸芸術施設である。

兵庫県はいま「芸術の館」(仮称)の設立を進めている。これは「心の復興がなければ、物理的な復興もあり得ない」というコンセプトにもとづく。古代都市の興隆とニューヨークの再生に見られるように、人間精神の高揚には、何か意味のある魅力的な形態をつくりだすことが必要であり、いまやそれは芸術に関するものなのである。

Japan's Premier Health-Shoe Specialist
高級健康靴と関連資材輸入・機材輸入

アリス

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り5-6-6
TEL:078-382-2101 FAX:078-382-2150
営業時間:10:30a.m.〜6:30p.m.年中無休

「毎日の生活の中で、私達の足には大きな負担がかかり、足の状態は、体全体の健康に大きな影響を与えます。アリスの健康靴は、最新の整形外科学の知識に基づいて作られていますので、足に悩みをお持ちの方にはもちろんのこと、健康な足を健康に維持しようと思われる方にも、自信をもってお勧めできます。ドイツから招聘した整形外科靴マイスターが常駐し、お客さまの靴の調整・修理・足の健康管理のお手伝いをさせて頂くと共に、アリスでは、随時無料で足の相談をお受けしています。さらに、月に一度“相談日”を設け、整形外科医・技術専門家とマイスターが、お客さまの足の悩みに専門的にお応えする体制をとっています。是非一度お気軽にご来店ください。」

株式会社アリス 代表取締役
アリス・クリスチャンス

JR元町駅西へ歩いて5分
花隈駐車場入り口向い

酔眼流旅日記　第24回

ムラマツ宴会の歴史（一）

村松 友視〈作家〉

カット／灘本唯人
題字／筆者

かつて、私が中央公論社につとめている頃、つまり二十四、五年も前のことである。唐十郎担当であった私が、状況劇場の芝居をよく見に行き、打上げの宴会にもたびたび顔を出していたことは、この欄でもすでに書いてきた。そんな酒席で出会った友だちというのが何人かいて、こういう友だちとは不思議なつき合いとなっている。

状況劇場の稽古場での宴会は、いつ終るのかが計りかねるという特徴をもっていた。これはひとえに座長の唐十郎さんの気紛れであって、唐さんの気分しだいで宴会は延びたり、打ち切られたりするのだった。しかも、延びる理由も打ち切る原因も、たいていケンカがからんでいるケースが多いのだから、けっこうハードな宴会でありました。

こういう感じだから、急に宴会が打ち切られて外へ出たとき、気がついてみるとやけに腹が減っていたりすることがある。宴会がまだ延々とつづくと思って、肴には手を出さずちびりちびりとやっているうち、不意打ちのように宴会が終ってしまうのだから、二階へ上げられて梯子を外されたような気分で、外へさまよい出ているのだ。

ある日、そんなふうにして宴会が打ち切られ、皆でがやがやと帰って行き、三々五々といった感じで別れたが、気がついてみると私はクマさん（藤原勝之）と二人で歩いていた……ということがあった。クマさんは当時、状況劇場のポスターを描いていた。画風は細密画で、いまの鉄やガラスを溶かす仕事とはまるでちがっていたが、クマさんの〝ゲージツ〟の原点に細密画があるのはたしかなのだ。それはともかく、私もクマさんも腹が減っていた。

「かなり腹が減ってるよね」

「そうだね」

「ちょっと、うちへ寄ってかない？」

「ムラマツさん家へ？」

「そう、めしくらい食えるからさ」

「いいねえ」

宴会が意外に早く終ったといっても、深夜に近い時間ではあった。私たちはとりあえず五日市街道を環状八号線に向って歩いた。そして、環八へ出たところでタクシーを拾おうと、空車に手を上げるのだが、なかなか停ってくれない。その理由を、私はクマさんの風態にあると思った。

深夜の環八に、つるつるに剃り上げた頭の男が、白がすりの着物を着て、素足に下駄をはいて立っているのだ。いくら人種のルツボみたいな東京のタクシーといえども、こういう姿はあまり見かけないだろう。ちょっと停めたくない気分も分るな

……そう思った私は、
「クマさんはうしろへ隠れていた方がいいんじゃないかな……」
と、クマさんに木のかげに身を隠すように言った。クマさんもまた、タクシーが停らないのは自分の風態のせいだと思っていたらしく、素直に木のかげに隠れた。そこで私が手を上げてタクシーを停め、うしろからクマさんが姿をあらわして乗り込んだのだが、タクシーの運転手さんの心臓のためには、こっちの方が悪かったかもしれないと、私はのちになって思ったものだった。

　わが家へ着いて、カミさんのつくるとりあえずの肴をつまみに、クマさんと私は宴会のつづきのような時を過した。それに味をしめて、私とクマさんのあいだに、状況劇場の稽古場での宴会のあと、二次会のようにわが家で二人だけの宴会をやる習慣が生れた。何度目かのとき、クマさんが上目遣いに私を見て、
「あのさ、もうひとり貧乏人がいるんだけど、誘っていいかな」
と言った。その貧乏人とは赤瀬川原平さんことゲンペーさんのことであり、次からゲンペーさんも小宴会のメンバーに加わった。もう少し酒を飲みたいというのではなく、腹が減ったところから始まった宴会だったから、貧乏芸術家のゲンペーさんは、十分に参加資格をもっていたというわけである。

〈むらまつ・ともみ〉一九四〇年東京生まれ。慶応義塾大学文学部卒。六三年中央公論社に入社。「小説中央公論」「婦人公論」「海」編集部員を経て、八一年退社。八二年「時代屋の女房」で直木賞受賞。主な著書は『私、プロレスの味方です』『アブサン物語』『トニー谷、ざんす』『鎌倉のおばさん』など。

仮設で再開した市場をたずねる黒田福美さん

通販カタログ「がんばってますＫＯＢＥ」の発行を続ける黒田福美さんに聞く

神戸の元気を商品化

黒田　福美〈俳優〉

インタビュア／田中道雄〈吉備国際大学教授〉

　俳優業のかたわら、さまざまなかたちで震災後の神戸の復興を応援していらっしゃる黒田福美さん。長田神社前商店街で展開されている通販システム「がんばってますＫＯＢＥ」も、黒田さんが企画・活動して生まれたものです。6月8日、神戸市産業振興センターにおいて、黒田さんに神戸の商業活性化について語っていただく講演会が行われました。

★商店、利用者、贈られた人が優しい気持ちになれる「がんばってますＫＯＢＥ」

田中　東京出身の黒田さんが、現在のように神戸と関わるようになったきっかけは何だったのでしょうか。

黒田　神戸には十年来の友人がいてよく通っていたのですが、九五年十一月に長田区役所のホールで、私が撮りためた韓国の写真展を開いたのが直接のきっかけです。震災のあった一月には東京での開催予定しかなかったんですが、震災で故郷の写真をなくされた方も多いだろう、ぜひ神戸でも開催をしたいと思ったんですね。開催に当たっては、地元の方々に大変お世話になりました。会期中には展示以外のイベントも行い、その中に写真家の中村征夫さんの写真教室がありました。みなさんに使い捨てカメラで街の写真を撮っていただく企画で、私も長田の街を歩きました。そのとき、神社前商店街のお店を順に撮ってみようと思いついたんです。一軒一軒飛び込んで行って撮らせていただいて、苦しい状況の中、笑顔で頑張ってらっしゃる姿にまず感動。またお話するうちに、商業の活性化がまだまだである現実を改めて知りました。

　そんなわけで、神戸の商業活性のために何かできないかと考えるように。神戸へ旅行してお金を落とそうという提案はすでにありましたが、私にはどうも現実的な方法に思えなかったんです。なぜなら、ボランティアに出かけることもそうですが、旅行にしても誰でもすぐにできるわけではありません。被災地を安易に訪れていいのかという不安もあります。また義援金にしても、どこにどう使われたのかわかりにくい…。

　そんなことをあれこれ考えるうち思いついたのが「がんばってますＫＯＢＥ」というカタログによる通販システム。日本にはお中元やお歳暮をはじめ、何かと物を贈りあう習慣があります。これを大手百貨店ではなく神戸の各商店に注文してもらおうというアイデアです。これなら確実に被災地に利益をもたらし、小さくとも商売の活性化の動きにつながる。利用

者はわざわざ何かをするという負担感なく、オーダーするだけで応援の気持ちを行動に移した達成感がある。さらに、商品にカタログを添えることで、贈られた人は神戸の様子と贈り手の温かい心を知り、次の贈り手になる可能性を持つ。商店、利用者、贈られた人、三者三様に少しずつ優しい気持ちになれるわけです。

★長田のお菓子を詰め合わせたヒット商品「長田物語」

田中　企画から実現まで、どんな感じで進んだのでしょう。

黒田　神戸全体で展開するのが理想ですが、金銭的にもはじめからは無理。商店街をひとつの単位と考え、写真展でお世話になった長田区の街づくり推進課に相談して、九六年初夏に長田神社前商店街に話を持って行きました。けれどはじめての試みなので何かと時間がかかり、カタログ制作のスポンサー探しは九月、カタログを発行しシステムが動き出したのは十一月。俳優である利点をフルに活かし、自分や友人の出ているCMの企業にスポンサーを依頼してまわり、またテレビなどに出る機会があるごと、このシステムを宣伝しました。

　私は現在、また少し別のアイデア実現に向けて動きはじめているんですが、カタログ制作に関していえば、直接携わったのは一号目だけなんですね。その後商店街の方々の手で制作され、現在は4号の制作準備中。こういうことは続けることこそ大変なのですが、ご苦労の多い中、非常に頑張っていらっしゃいます。商店街のイメージキャラクターをあしらったグッズを作ったり、複数の商店が商品を出し合ったお菓子の詰め合わせ「長田物語」をヒット商品に育てたり。常に風化させない工夫を模索なさる姿勢に、頭の下がる思いです。例えば私がマスコミで話をするにしても、何か新しい展開、特色がないとなかなか取り上げてもらえないんです。

　この通販システム・ノウハウは、未来あるいは過去の災害、また国内外場所を問わず使える方法。けれどいざやろうとするとなかなか難しい、広がらない。こういうことにこそ、行政の支援がもっと必要でしょう。

田中　長田区では、各地域の商店が集まってまもなく「長田サミット」を開催。来年・再来年の助成金を申請し、長田神社前商店街のカタログをたたき台にして、地元にもアピールする冊子を企画しているそうです。

黒田　本当ですか、それは素晴らしい！　頑張り続けることが、大きな流れにつながるんですね。私もマスコミの一端に位置する人間として、神戸のみなさんと気持ちを重ねて、応援させていただきたいと思っています。

黒田福美（くろだふくみ）
東京生まれ。桐朋学園大学演劇科を卒業し、TBSのテレビ小説で俳優としてデビュー。数多くの映画、テレビドラマなどで活躍する一方、芸能界きっての韓国通として知られる。被災地の方々が撮影した写真展「さっき見てきた神戸・長田展」を発表。また新しい通信販売システム「がんばってますKOBE」を企画し活動。著書に『ソウルマイハート』『ソウルの達人完全版』『アプローチ』などがある。

■神戸復興キャンペーン座談会 連載 1

21世紀のKOBEに向けて

神戸に明るい未来を築く

□出席者（順不同・敬称略）

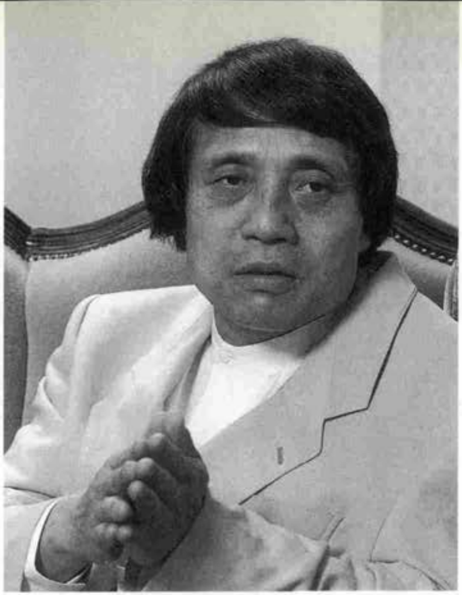
安藤忠雄〈建築家・東京大学教授〉

伊藤正視〈伊藤ハム㈱専務 香港ガーデン㈱社長〉

南部靖之〈㈱神戸バーバーサーカス社長 パソナグループ代表〉

司会／**小室豊允**〈姫路獨協大学 経済情報学部長 大学院研究科長〉

目の前に迫る21世紀に向かって、現在の神戸に危機感をもつ本誌、神戸に思い切った大きな仕掛けと発想を打ち出さないといけない。将来の神戸を創っていくであろう次世代パイオニア的存在の3人に、前向きな神戸をつくるために大いなる着想と、神戸宣言なるものを、思い切り語っていただいた。この重苦しい神戸の停滞を一掃するために。



安藤忠雄さん

★食のテーマパークの発想でレストランづくり

小室 伊藤さん、この4月、西麻布にオープンした香港ガーデンの広さはどのくらいですか。

伊藤 建物は1350坪。6ケ月で完成させました。テーマパークを作るにはコストの問題で早く作らなくてはいけない。そのつもりでやった。

安藤 伊藤さん、あの香港ガーデンが、なかなかいいなと思うのは、自分のお金で行けるというところです。

伊藤 レストラン業界の方が何人も見学にこられて、これはレストラン業の発想ではないと。

小室 それは、どこが違うんでしょう。

伊藤 食のテーマパークの発想かもしれません。ラスベガスのミラージュとかシーザースパレスとかのホテルに、あの香港ガーデンができたら大はやりする、というのが基本コンセプトです。ショーを見た

小室豊允さん

伊藤正視さん

南部靖之さん

いけど時間が迫ってるからさっと食事をするお客様や逆にゆっくり楽しみたい方にも対応しています。キーワードはスマートカジュアルです。オープンキッチンで、ランニングコストをかけずにエンターテイメント性をたかめる、しかもイニシアルコストも低いんですよ。いま土・日ですと待ち時間が1時間半ぐらいです。

★神戸をもっと楽しくてウキウキする街に

小室　ところで神戸はシドニーとサンフランシスコに非常によく似ているんですね。湾に抱かれていて坂道があって感性がよくて、おいしい味がある。ところが神戸は震災の前から活気がなかった。何か恋人のような感性のいい街ではあるようなんですが、経済の面からみれば神戸には力が感じられない。

21世紀に向かって神戸はどういう街になっていけばいいんでしょうか。

南部　神戸は思ったほど、遊ぶところがなかったり、見るモノがなかったり、六甲山があって海があってと自然には恵まれていても、観光の街といわれながら、本当に観光の街なのかなと疑問をもちましたね。

もっと楽しくてウキウキするような街になればいいなと、神戸全体がテーマパークのような感じで、あちこちに楽しいモノがあればなと。

オフブロードウェイのようなところにポケットシアターとか、大きな音楽ドームとか、ランドマークのようにいろんな機能が集まるところなどがあってもいいんだけど。

小室　神戸ポートピアホテルに国際会議場ができ

て、集客があるのですが、問題は一緒に来た奥さま方が、ご主人が会議中にどこをまわってどこで買い物をしていいのか、これという目玉がないんですね。明石海峡大橋ができたので、これはひとつの見所ができたんですが。

南部 それが、どこまで飛びついていくか、どこまで定着するか、どこまで楽しんでいただけるか、まだわからないですよね。神戸のなかだけで内需拡大していくわけではないと思いますから、日本国中から、また東南アジアから神戸に人が集まるようなモノがなければいけないですよね。

震災のあとすぐ、神戸こそ環境の街にぴったりだと思って、エコロジーカーを走らせようと、㈱神戸エコカーを設立しました。神戸市指導で、資本は民間が出してと市と民間企業が同時に街づくりをやっていくいい例です。

★海底トンネルでつなぐアクセス構想

小室 いま、国連で世界で一番住んでみたい楽しい街の賞をもらった、アメリカのテネシー州のチャタヌーガは、面白い都市計画をやっていて、ひとつの目玉がエコカーのバスなんですよね。

神戸は感性のいいモノを使って都市づくりをやるべきだと主張してきたんですが、伊藤さん、テーマパークとかテーマ都市についてご意見は？

伊藤 神戸は去年の宿泊客数が660万人で、震災以後非常に低迷してるわけですね。そのうちホテルに宿泊した客が360万人。ホテルの数が94件、8990室。稼働率が60％と低い。これは不況で厳しいなかでも東京は70％割ってないんですね。東京のホテルの数は7万7000室、それから海外の例をとりましたら、ラスベガスが10万室を越え、今世紀中には11万室を越えると。フロリダ州のオーランドでも8万室を越えたという事情を考えれば、神戸は観光都市とはいえない。集客力と集泊力をつけなければいけませんね。もう一度都市のあり方を見直す必要がありそうです。

提案としましては、南部さんがおっしゃったことも大切だし、ランドマーク的な建物も必要だと思います。ただ、交通アクセスにしても、新神戸駅は新幹線の「のぞみ」がわずかしか止まらないし、大阪で乗り換えなければならないことも多いし、こんなに出遅れた駅はないですよ。

新神戸駅から第1ポートアイランド、第2ポートアイランド、神戸空港、さらに関西国際空港へのアクセス構想を小室先生が提案されていましたね。

ポーアイから関空までを海底トンネルでつなぐ構想が実現すれば、わずか30キロ、20分弱で行けるんでしょ。そうなると第2ポーアイの開発がスムーズにいくでしょうし。関空と併せて考えれば、横風対策として神戸空港が国際空港となるという位置づけにして、しかもこれが海底列車でつながっているとなると、自ずと新神戸駅も改善されて「のぞみ」も頻繁に止まることになるでしょうね。

小室 シアトルとかどこでも、関空と神戸沖空港ぐらいの距離なら、トラムでひとつの空港のなかで結ばれているんですよ。2つの空港は一体的に考えたらいいと思いますよ。

伊藤 そうです。それを軸足に第2ポートアイラン

「新しい神戸の街づくり」をテーマに次々とアイデアが提案される。左より　小室、安藤、伊藤、南部各氏

ドの開発、あるいは集客施設の整備などが必然的に盛りあがってくるんじゃないかと思いますが。

小室　安藤さんは神戸の都市づくりや建設にかかわってこられたんですが、これからなにが必要だと思われますか。

安藤　東京方面で若い人たちと話をすると、10年、20年前の神戸は日本のなかで一番行ってみたい、住んでみたいところだった、その次が京都。海と山に抱かれたなかに、人間的なスケールでできている都市というのは非常にめずらしいし、これほど住みやすい街はない。住みやすい街には可能性があると思うんです。

その次にモダン神戸は明治以後にできた街ですから、古いものがなかったというよさがあって、伝統のない街だからおもしろいというんですね。それ以上の発展がどうかとみたときに、観光都市で集客する都市としては、なにかひとつ大きなモノが欠けているんだろうと、そのひとつがやはり交通網ですね。

大阪で降りてから、どうやって神戸へ行っていいのかわからない人が、たくさんいるんですよ。今の若い人たちには、瞬間的にわかりやすいことが大切です。ひとつひとつが豊かに盛りあがってきた街のよさはあるんですが、大量移送機関がない街ですから、ハンディがあります。

小室　静脈はあるが動脈がないということですね。

安藤　震災でゼロに近い状態から復興してきたエネルギーには、目を見はるものがあります。このエネルギーをこれからも持続していくためには、ひとつやふたつ、中心になるモノや場所がいりますね。それを実現するには相当の勇気と危険性を越えていか

ねばならないですね。例えば、シドニーは中心がない街ですから、オペラハウスは、大きな役割を果していますよね。

★行政ははっきりしたビジョンを打ちだすべき

小室　東部新都心にヘルスケアパークが計画されていますが、伊藤さんもアドバイスなさっていますね。

伊藤　21世紀のテーマとして「心の豊かさ」と「ファミリー」を、もう一度見直そうというのが「ヒューマンケア」であり、ひいては「ヘルスケア」です。

南部　ボクもそこに音楽ドームをつくろうとしてたんですが、それより先に雇用が生まれることを考えたいなと。神戸市のほうで舞子浜に大きな埋め立て地があるから、どうだと話があり、資金を香港の財閥から集めて、神戸全体をスパ・ランドにしようと考えました。香港、タイ、インドネシアのスパをいろいろまわる企画をしてたんですね。ところが、急に10年と15年の賃貸に変更になってしまった。市の方向、ビジョンが見えない。

ボクは今、建物とかのハードではなくて、夢音楽祭のようなイベントを開いたり、ベルリンフィルを神戸に呼んだり、ミュージカルをやろうとか、ソフトの面だけでやっていこうとしています。あとは怖くってタッチできない。どこでどう行政が変わるかわかんないですもん。我々民間企業は、市がこうしますといわれるとどうしようもないですから。東部新都心のことも、県の立場と市の立場と民間の立場といろいろあるかもしれないけど、ビジョンをピシッと示してくれれば、じゃボクは1000億集めてこようとか、声もかけられるけど、いまは臆病になっていますね。

小室　香港は間違いなく沈むと、そして今度はマカオがひどい状態になるでしょ。香港の資本家も香港では窒息感があって外に出たくてしようがないんですよ。「マカオのギャンブル」や「香港の味」「自由なマーケット」など、あのエネルギーと潜在力を神戸にもってきたらすごいと思ってたんですが、官の規制が厳し過ぎますね。

伊藤　香港ガーデンはお蔭さまで優秀な香港の職人がいっぱい来てくれましてね。ですから、味のレベルも評価していただけるし、よく働きます。その働きぶりには脱帽ですね。香港に限らず、神戸も閉塞感があるんじゃないですか。行政もどういう神戸にしたいんだとビジョンを示すべきでしょうね。グランドデザインをだしていただかなくては。

例えば、北野小学校跡地でも年度を区切られていて、暫定的なモノしかできないので「北野工房のまち」をどう未来につなぐかが大切ですね。

それと今まで神戸はデベロッパーが中心でしたね。これからは消費者側の立場で考えていかなくてはいけないでしょうね。それに男だけの発想も止めてね。女の人の発想が大事ですよ。

★神戸の建築を世界の建築家に依頼する

小室　安藤さん、都市のプロデューサーが必要だと思いますが、もし神戸のプロデューサーをやってくれと言われたら、なにからどうやっていきますか。

安藤　神戸は市民と行政がともにつくってきた街で

す。今回の震災では行政指導で、それに民間人が細部にわたって発言して、わりあいうまくやってきたと思います。これからは市民一人一人が行動の基点となって、もっと主体的に、積極的に街づくりに関わっていければと思います。

　それと、神戸の街を神戸の人たちがつくっていくのは当然なんですが、内輪だけで何とかしようというのではなく、もっと門戸を開いて外から活力を導入することも考えねばならないのではないでしょうか。例えば、街の骨格を形成するような建物をつくるときに、世界中の力のある建築家に依頼するようにしたらどうか。神戸の知名度は世界的なんです。そんな、世界に名の通った都市で仕事をしてみたいというのは芸術家のサガのようなものですから、超一流の建築家に依頼しても引き受けてくれますよ。すると、世界の芸術家が目を向けている街ってどんなところかと思うでしょ。そうやって、ただなんとなく有名だった街に特徴ができ、内容も伴ってくる。その情報は世界中に発信されるわけですから、観光的にみても、十分経済効果がありますよ。国際都市っていってるんですから、そんな取り組みがあってもいいんじゃないですか。

小室　神戸ネイティブではだめなんですね。

安藤　南部さんがジレンマに陥ってるのは、神戸出身で神戸への強い思いがあって、ここを拠点として活動していこうと思っているのに、神戸でたたき上げた人しか入れない経済界があるからなんです。「南部さんて、またなんで突然神戸に帰ってきたん」となる。でも南部さんが一番行動してると思うよ。一生懸命やられると日本人は、なにか悪いことを考えてるんと違うかと疑う。そう思っても、それに乗ってみる勇気がいるんです。乗ってみて、街が発展したらいいじゃないですか。

　この震災復興は神戸の力だけではできないですよ。日本中はもとより、国際的にも考えていただきたいですね。建物の復興は国も支援していますが、雇用の問題や個々の生活をどうしていくかという難しい問題がでてくると思います。

小室　ソフトとかコンテンツとかは行政は弱いですからね。南部さん、めげずにがんばってもらわなあかんな。

安藤　そりゃ、めげるよ。（一同大笑い）

南部　ボクはアメリカに35才から約9年間いて、家族は向こうにいるんですが、神戸の町が好きだからね。

★元気になった神戸を見てもらおう

小室　21世紀も近づいて、神戸を次の大きなステップに導くために民間が知恵を出すことはなにか、皆さんのご意見をいただけますか。

伊藤　神戸がこれだけの大震災にあって、復旧はうまくいったんですから、ほんとの復興はこれからなんですね。神戸の経済状態は非常に悪いんです。マイナスの悪循環が働いてるんですね。

　震災で世界中から励ましやボランティアを受け、義援金を受けたんですから「皆さんのお蔭でこんなに元気になった神戸を見てください」と感謝の気持ちともてなしの精神をもって、復興イベントをやってほしい。復興イベントは年間を通したイベントと、どこかに拠点となる会場を設けて、阪神間、淡路島

も含めてやっていく方法があります。関東大震災のときも横浜でやっているんですよ。横浜は大火があって山下公園が新設されました。そこが会場になってるんですね。天皇が横浜に行幸される市民奉迎会をやったんですね。（※昭和4年4月23日。東京でも5年3月24日から一週間、約7億円をかけて6年間の復興事業が終わったことを祝って帝都復興祭が開かれた）

ですから、神戸もそろそろ考えてもいいんではないでしょうか。

★復興住宅の再利用は学生やゲスト教授の住居に

小室　安藤さん、明石海峡大橋ができて、今は観光客も多くうまくいってるんですが、これをどう使うかなど、さっき、月刊神戸っ子から神戸市のプロデューサーの委嘱状が発行されたんですが。（大笑い）この次はどこか、なにをやるか、なんですが。

安藤　明石海峡大橋ができたことをきっかけに、ちょうど2000年に「ジャパンフローラ」が淡路島で催されますね。その博覧会を中心にしながら、兵庫県は花という産業をつくろうとされているんですね。これから生活産業が盛んになるでしょうし、島全体が花の産業となることもいいなと思いますね。

もうひとつ、神戸が住みやすく、若い学生がたくさんいる街にするなら、松陰や神戸女学院、甲南や関学とか大学の宿舎が必要なんです。震災復興の住宅供給ですが、いま高齢者ばっかりなんです。これは入れ代わっていく時期がありますから、この棟は神戸女学院、こっちの棟は松陰、もっと大きなユニットは世界中から先生方を呼んで、そのための住居にしたらいいんですよ。給料は世界中から呼べる水準なんですが、住居が貧しい。いい住まいがある学校にいい先生がきます。そしていい先生のいる学校にいい学生がきます。すると自然に街が活発になりますね。復興住宅の再利用をいまから考えておく必要があります。

また、アジアの人たちも行ける学校、住める家をつくってあげると、距離的にも近いし居住の環境としてもいいということで、人々が集まってくるでしょう。国際都市神戸をつくっていけば、経済も活性化します。人間がいないところは発展しないんです。

南部　世界中のアーティストや巨匠といわれる人、海外で活躍している日本人が、もどるところは神戸だと。出身は他県であっても神戸に住んでみたいと、住むという環境のよさを重点に街づくりをすすめることはすごくいいと思いますね。

例えば海外で活躍している著名な日本の作家の方が、一週間でも10日でも神戸のどこかに籠もって、本を書こうとしてくれてもいいんですけどね。それには最適な街だと思いますね。

伊藤　ファッショナブルなセンスをもった神戸に似合った人々が住みたくなるような、ハード、ソフトの面から街づくりをしていってほしいですね。

南部　女性の感性が活かされるような街ができれば、やさしい街になりますよね。

小室　今日は素晴らしいアイデアがたくさん提案されました。21世紀に向かって神戸の方向性を示されるよう、ご活躍を期待しています。

（協力／神戸ポートピアホテル・レストランアラン・シャペル）

大切な方へ、港町神戸から
夏の贈り物

デザートギフト

（左）2,000円／（右）3,000円

天然素材にこだわったフルーツゼリー「ロレンス」に「パールデザート」、丹念に焼き上げた自然の香ばしさが好評の「クッキー」を詰め合わせました。どなたにも喜んでいただける逸品です。

北欧の銘菓
株式会社 ユーハイム・コンフェクト

本　　　社　〒651-2117　神戸市西区北別府２－１－２
TEL078-974-9756　FAX078-974-9758
グランドール熊内店　神戸市中央区熊内町１丁目８－23
TEL078-231-1428

佐本産科
SAMOTO CLINIC

ママといっしょに

赤ちゃん：**釋裕貴**君（平成9年6月16日生まれ）
ママ：**由理**さん
長男：**章充**君　次男：**涼太**君
「兄弟3人いつまでも仲良くね。」

★佐本産科・婦人科★

佐本　学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL:078－575－1024（病室TEL:078－577－7034）
市バス上沢４停南スグ
●駐車場完備●

ジョイント
フォーラム
イン
東京
joint forum in tokyo

京阪神三都夏祭り 歴史街道は魅力いっぱい

主催／京阪神三都夏まつりキャンペーン実行委員会
歴史街道推進協議会・㈳関西経済連合会

「祇園まつり」「神戸まつり」「天神祭」という京都、神戸、大阪三都市の個性的な夏祭りと、夏の魅力や歴史街道関連地域の情報など、関西の文化、観光情報をアピールしようと、四月十四日東京キャピトル東急ホテルにおいてジョイントフォーラムが開催された。

四月十四日の東京はあいにくの雨だったがキャピトル東急ホテルのフォーラム会場は、旅行関係マスコミ、旅行社、企業関係社約二百社が参加。京阪神への関心高く、熱気あふれるフォーラムになった。

主催者代表は新宮康夫氏㈳関経連会長。『京阪神三都夏祭りキャンペーン実行委員会では平成八年度より、震災復興支援、関西の夏の観光振興、京阪神市民交流の促進を目的として、七月に開かれる「祇園祭」「神戸まつり」「天神まつり」を中心に、関西の魅力と面白さを売りこもうというキャンペーンです』とあいさつ。

続いて「夏の関西・見どころ紹介」を、NHKの目加田頼子アナの司会によりスタートした。

京都代表の森谷剋久(武庫川女子大)教授は、「祇園さんは、七月一日から一カ月続く長丁場、祇園神社の氏子園を中心に、中京区・下京区界隈で行われています。正式名は祇園御霊会で千二百年前に始まり、十四世紀頃から山鉾の五十基も出る祭りとなった。戦後は交通事情により御池通を通る形となり七月十七日の山鉾巡業が、一番美しく観ることができる訳です。十五日ぐらいから始まる宵々山の屏風祭りも楽しい。これは、中京、下京の祇園北の代子が自宅を開放して自慢の無形文化財の屏風や、着物また築百～二百年の京都の町家の佇まいを見学できるのが楽しい」と語る

「神戸まつり」は本誌編集長の小泉美喜子が

「今年の七月二十日で阪神・淡路大震災から三年を迎える

が、神戸の街は震災がどこにあ ったんと思われるほど美しくよみがえっています。四月にはパールブリッジ（明石海峡大橋）も開通し、三宮センター街もアーケードが完成し、明るい街になり、不景気だけれど歯をくいしばって頑張っているので、励まし元気づけに神戸まつりへぜひ来て下さい。

神戸まつりは、昭和八年から始まった港祭りが起源である。戦後は秋の港祭りに五月の神戸カーニバルが生れ、四年後に併合して「神戸まつり」がスタートし、今年で二十八回目を迎える。サンバは神戸カーニバルから登場し、日伯親善を通じ、ブラジル領事館と共に国際交流から始まり広がって、港町の自由な空気を若ものたちに支持された。

大震災後は「神戸五月祭」と、南京町の華僑の人と共に龍踊りとサンバが元町を踊り、まつりが元気と心のふれあいと癒しになることを実感。京阪神三都まつりが唱えられて平成八年から「神戸まつり」は、七月十七日〜二十日に移行した。「神戸まつり」の特色はなんといっても市民の手づくりにある。神戸市民祭協会が主催して、全体のテーマは海・みどりそして愛。今年のテーマは〃夏　夢架けて〃。パールブリッジ（明石海峡大橋）が開通し、夏に祭りが開かれることをアピール。そして〃バルーンアート〃を全面的に採りあげて夢をのせた祭りを演出。楽しく明るく元気のでる祭りをぜひ橋と共に楽しんで下さい」。

文化プロデューサーの河内厚郎さんは大阪の天神祭りの魅力を語る。

「二〇〇八年に、オリンピックを大阪へ招致するため磯村市長は〃ミレニアム都市〃を一つのポイントにしている」。

厳密にいうと一三〇〇〜一四〇〇年になるが実は大阪は日本で一番古い都市。一番古い寺は四天王寺。日本で最初の本格的な都市型宮殿は難波宮である。この宮の西北隅の守護神の大将軍社というものがあり、菅原道真公を祭ったのが天神さんで、天神祭も一九五一年に始まっている。

天神祭りは、陸渡御と船渡御の両パレードがあり、七月二十五日に行なわれるが、当日の午後、天満宮から陸渡御のパレードが大阪の都心を練り歩き、その後、船に乗り込み天神さんの御霊船を乗せた船、それを守る船さまざまな業者や、組合の船が百隻ぐらい淀川をパレードする大変華やかな祭りである。」

歴史街道推進協議会事務局長の井戸智樹氏は、

「歴史街道事業の文化発信には、地域づくり、観光、海外への文化発信の三つがあります。

関西は歴史文化の宝庫なので特に海外PRに力を入れ、震災後、北京で海外フォーラムを開き、韓国、そして今年はロンドンで開催し大観光時代をねらったPR作戦を行ってゆきます」と、マルチメディア化をとり入れてインターナショナルな話題。

三都祭りから、三都の魅力を話す面白フォーラムは、わが町自慢舌戦となった。

祇園祭

■ 7月1日（水）〜31日（金）

- 稚児社参／八坂神社
  13日（月）11：00〜
- 宵山・屏風祭／各山鉾町
  15日（水）・16日（木）夕刻
- 山鉾巡行／四条烏丸出発
  17日（金）9：00〜
- 還幸祭／八坂神社
  24日（金）10：00〜
- 神輿洗式／四条大橋
  28日（火）20：00〜

神戸まつり

■ 7月16日（木）〜22日（水）

- オープニングセレモニー
  ／東遊園地
  17日（金）18：00〜
- みなとこうべ海上花火大会
  ／メリケンパーク沖
  18日（土）20：00〜
- アジアパラダイス
  ／メリケンパーク
  19日（日）・20日（祝）11：00〜
- メインパレード
  ／フラワーロード出発
  20日（祝）16：00〜

天神祭

■ 7月23日（木）〜25日（土）

- 天神祭前夜祭 in OBP
  ／大阪ビジネスパーク
  23日（木）17：00〜
- 宵宮祭／本殿
  24日（金）7：45〜
- 催太鼓、獅子舞／氏地巡行
  16：00〜
- 夏大祭／本殿
  25日（土）14：00〜
- 船渡御／天神橋⇔飛翔橋
  18：00〜
- 還御祭／本殿
  22：00〜

緑と海そして愛
神戸まつり28
―夏・夢架けて

1998年7月17日(金)～20日(月・海の日)を中心に
神戸市内各地で繰り広げられます。

■お問い合わせは
神戸市民祭協会
・TEL078(331)2413
・インターネット・アドレス
http://www.city.kobe.jp/index-j.html

■主なスケジュール

17日(金)
●オープニングセレモニー
18:00～19:00
東遊園地特設ステージ
●港のパレード
9:15～11:50
神戸海洋博物館および神戸港内

18日(土)
●'98 KOBEパリ祭
18:00～
神戸文化ホール(大ホール)
出演:石井好子、有馬稲子、木原光知子ほか司会:永六輔
●みなとこうべ海上花火大会
20:00～21:00
メリケンパーク沖
打ち上げる花火は約3500発!

19日(日)
●各区のまつり
中央区「ふれあい中央カーニバル」ほか、区ごとに特色あるおまつりを開催
●神戸港ボート天国
10:30～15:00
メリケンパーク
モーターボート、ヨット、水上バイク、などによる海の一大ページェント
●アジアパラダイス
11:00～20:30
メリケンパーク
各国の料理の屋台や民族舞踊など
(20日は18:00まで)
●神戸JCシーサイドコンサート
18:30～20:30
メリケンパーク
ル・クプル、ゴンチチほか
●かんでんファミリーコンサート
15:30～18:00
神戸文化ホール(大ホール)
アジア系バンドが集結＊チケットは抽選済み

20日(月)
メインフェスティバル
●おまつりパレード・元町パレード
16:00～21:00　フラワーロード～花時計線～元町通り
バルーンアートによる演出や東京ディズニーランドのフロートも参加。フィナーレは空のパレード。神戸の夜空に夢の空間を演出
●ガレージセール
13:00～18:00
播磨町筋で50店が出店予定
●花舞台
13:00～19:00
東遊園地
周辺市町の郷土芸能や
各国の民族舞踊
●バラエティステージ
13:00～19:00
さくら銀行前
一般公募によるバンド演奏やダンス

神戸まつり メインパレード出場人気チーム紹介

●吉田加鶴江バトンスクール

リーダー　吉田加鶴江

（吉田加鶴江バトンスクール主宰）

神戸で発足以来、11年目になります。大変有名になった明石大橋が目の前にそびえ立つ、舞子の地で、ハツラツとレッスンをしています。神戸まつりのメインパレードには毎年積極的に参加しています。1人でも多くの方にバトントワリングの華やかさ、楽しさを感じてほしいと思っています。そしていつでも興味が湧いたらぜひ一度、バトンを握ってみて下さい。私たちメンバー一同も神戸まつりに向かって頑張っています。毎土曜日の午後、狩口地域センターで活動しています。見学も歓迎します。

●PRINCESAS DO SAMBA

リーダー　わかま弘子

（PRINCESAS DO SAMBA主宰）

15周年の記念に6名のメンバーが、ブラジルのマンゲィラチームに入門し、施設の見学やフロート製作工場の警備の厳重さに驚き、パレードの待機場所では、大空の下なのに窒息しそうになり、4時間の直立不動の待ち時間に、よく体がもったと、変なところで感激でした。今年のチームテーマは「カンタ」です。これには「唄い称える」という意味が込められています。15年間の感謝とともにサンバを唄い称えます。サンバで知り合った仲間が、毎週レッスンを重ねて、年に一度の発表のチャンスを迎えるのです。神戸まつりだ。「CANTA!」

神戸まつり メインパレード出場人気チーム紹介

●神戸弘陵学園高等学校マーチングバンド

リーダー　高見　守

（マーチングバンド部長）

私たち神戸弘陵学園高等学校マーチングバンドは今年で創部14年、日々楽しめるマーチングを目指して活動しています。昨年は3度目の海外演奏も成功し、近畿総合文化祭にも県代表で出場させていただきました。他にもマーチングの全国大会に過去2度の出場経験があります。パレード以外にもドリル演奏といって様々な図形や文字を作りながら演奏演技をして、目と耳で全身で楽しめる音楽にも力を入れています。いい演奏演技ができ、多くの拍手をいただいた時は最高の気分です。今年も頑張ります。

●吉原典子バトントワリングスクール

リーダー　吉原典子

（日本マーチングバンド指導者協会公認指導員）

3才から社会人までで構成された明るく楽しい我がチームは、礼儀正しく心身共に鍛えられたトワラー育成を目標としています。その中で私達は毎年多彩な催しに参加させていただき、また全日本選手権などの競技においても、毎年チャンピオンや数多くの入賞者が出ています。特に昨年の夏には、ハワイで開催された世界選手権にてペア種目の日本代表として出場し、見事に世界第一位の座を獲得することができました。

神戸まつり メインパレード出場人気チーム紹介

●日本ブラジル文化交流協会

リーダー　中山俊夫

　神戸市とブラジルのリオ・デ・ジャネイロ市とは姉妹都市の関係にあり、その影響もあって、神戸はコーヒーとサンバが良く似合うおしゃれな街ではないでしょうか。

　神戸からブラジルに向けての日本初の移民船「笠戸丸」が出港した明治41年以来、ブラジルと神戸は90年間の友好関係が続いております。

　私たち日本ブラジル文化交流協会チームは、サンバ好きなら誰でもいつでも気軽に参加できる混成チームです。京都や大阪を始め、全国から多くのサンビスタが参加して、サンバを楽しんでいます。

●韓国民団兵庫県本部

リーダー　李且守
（本部団長）

　皆さんアンニョンハシムニカ？（こんにちは）私たちは県下に住む在日韓国人が中心となって運営している親睦団体です。今年で28回目を迎える神戸まつりですが、実は私たち韓国民団がこのまつりに出演するのも28回目なのです（少し自慢のタネなんですよ）。だから私たちにとって神戸まつりは、色々な想いがぎっしりと詰まった格別のまつりなのです。さあ今年も、色とりどりの民族衣装をまとい、老若男女が力を合わせ行進をします。ご声援よろしくお願いします。

神戸まつり メインパレード出場人気チーム紹介

●ナカタコウベカルチャーサンバチーム

代表　中田久義

私たちのチームは、結成以来15年余りを経過しており、メンバーは当教室の生徒さんを始め、気の合ったサンバの愛好家が集まりつくられております。

普通、サンバのダンスは、創作的につくられ、それぞれサンバを楽しみますが、当チームのダンスは社交ダンスのサンバのステップを基本にパレード用にアレンジをしたものです。パーカッションは大きな太鼓(スルド)を始め、色々な打楽器を使い迫力のある生演奏をし、ダンスとパーカッションが一体となって、サンバのリズムを楽しみ、明日への活力となるよう、みなさんにもアピールしております。一生懸命やりますのでどうか、ご声援下さい。

●兵庫朝鮮学園

リーダー　金仙玉

兵庫県下に13校ある朝鮮学校の中から今回は神戸市内にある神戸朝鮮高級学校、東神戸朝鮮初中級学校、西神戸朝鮮初中級学校の3校の生徒たち、そして今回は卒業生も参加します。

今回のテーマは農楽。朝鮮民族は昔から祝い事や豊作などがあると、「クェンガリ」「チャンゴ」「プク」「ジン」というような民族打楽器を打ち鳴らし、その喜びをみんなで分かち合ったといいます。

パレードでは、これらの民族打楽器を使った朝鮮の独特なリズムと舞をぜひ、ご覧ください。

神戸まつり メインパレード出場人気チーム紹介

● 月刊神戸っ子サンバチーム

代表　小泉美喜子
（月刊神戸っ子編集長）

元祖・神戸のサンバチーム。

誕生は神戸まつり28回、神戸カーニバル4回、サンバパーティ2回ああなんと34年前。

三菱重工で3万tのブラジル船を5万tにする3次元工法で停泊中の船員さんたちと、ブラジル領事館のカルドーナ領事に乗せられてサンバパーティを開いてからのご縁である。今やサンバチーム内で恋が芽生え、サンバっ子たちもいるほど子供たちも愛らしく、安田美佐枝さんがダンスリーダーだ。

日伯親善を震災後もリオの本場チームと踊り、神戸まつりの"花"!!

● 神戸サンバチーム

代表　西内脩

私たちは今年で28回目を迎える神戸まつりに毎年参加をしています。元気いっぱいの明るさと華やかさを備え、歌・リズム・ダンス・コスチュームと神戸発のオリジナリティー溢れるチームとして活躍し、全国各地へ出かけて行きます。

子供から大人まで誰もが気軽におまつりへ参加できるものと言えば神戸サンバチームです。今年も若々しさ溢れるメンバーで賑やかに踊りだしたいと思います。

さあーみなさんも
レッツゴー、ビバサンバ!!